

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	鶴岡市立湯野浜小学校
授業者	渡部 日那

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

地域のお世話になっている人達に、私たちの考えた『備蓄 BOX』の準備を呼び掛けよう

#### 1-2. 学年

第4学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

#### 1-4. 単元の概要

災害に備えた備蓄について理解し、家庭や地域住民の実態に応じた備蓄や工夫してできる備蓄について考えるとともに、学んだことを家庭や地域住民の今後の防災行動に生かそうとする。

##### 1 実体験に基づく課題設定

社会科や避難訓練で学んできた災害に備えた備蓄についての知識を生かし、家庭や地域住民の災害に備えた備蓄の現状を改善していく必要があると認識させる。災害に備えた備蓄について家庭や地域住民に、自分から進んで呼びかけようという思いを持たせて学習への意欲につなげる。

##### 2 様々な調べ方での学習

情報収集をたくさんの方で行ったり様々なサイトを見たりして、偏った考えを持つことを防いだり、媒体や人によって提唱している情報が異なることに気付かせたりする。また、家庭や地域住民の実態によってどのような情報が必要か吟味する場面を設ける。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

4年生の子ども達は自分が興味を持ったことに対して、意欲的に調べ学習をする。しかし、複数人で分担して協力しながら活動することは全体的に得意ではない。様々な教科のグループ活動の場面で、他の誰かに話し合いをまかせる子どもの姿や、関係のない話をする子どもの姿、そういった友達の様子からグループ活動をあきらめて個人で活動する子どもの姿が見られる。グループのメンバーが同じ目的を持って、みんなで解決に向けて話し合い、活動を進めてほしいという担任の願いがある。そのために、実践的かつ自分たちで何とか解決できそうな課題を発見させ、アイデアや子どもの知り得た知識に価値付けしながら自信を持たせて話し合いに向かえるようにしたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

<p><b>【知識・技能】</b></p> <p>(1) 災害に備えた備蓄をすることは、命を守る行動であるということを理解している。</p> <p>(2) 備蓄にはどのような物をどのように保存しておく必要があるか理解している。</p> <p>(3) 図書やインターネット、専門家に質問をしたりして収集した情報をまとめることができる。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <p>(1) 家庭や地域住民に実際に備蓄してほしい物の情報を取捨選択したり、比較、関連付けたりしながら課題解決に向けて考えている。</p> <p>(2) 家庭や地域住民が実際に行動に移してくれそうな、工夫してできる備蓄について考えている。</p> <p>(3) 伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性】</b></p> <p>(1) 災害に備えた備蓄について調べたりまとめたりする活動を通して、友達と協力して課題解決に取り組もうとしている。</p> <p>(2) 家庭や地域住民の命を守るために、災害に備えた備蓄をすることを進んで呼びかけようとしている。</p>
--

1-7. 単元の展開（全25時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 2 3 4	<p>課題の設定</p> <p>○災害に備えた備蓄について考えよう</p> <p>・社会科の学習や2つの水害の出前授業、避難訓練で見せてもらった備蓄品ともらった食料を思い出しながら、私たちの家庭や地域住民は災害に備えた備蓄が十分かどうか実態を知ろうとする。</p> <p>○事前アンケートを実施する。</p> <p>・災害に備えた備蓄をする家庭や地域住人を増やせないか、発信の仕方について話し合う。</p> <p>・アンケートの結果から、しっかり備蓄をしている家庭は少ないことと、「◎」の回答をしている人の中には、備蓄品として家に保管しているわけではない人が多数いることを把握する。</p>	<p>■災害への備えについて学習するに留まらず、実際に行動に移していくことが大切であることに気づき、発信していくことの見通しを持つことができる。</p> <p>社会科『自然災害から人々の暮らしを守る』 →災害に備えた備蓄について振り返る。</p> <p>国語科『いろいろな手紙を書こう』 →事前アンケートと一緒に招待状を送る。</p> <p>算数科『表と折れ線グラフ』 →事前アンケートの集計をする。</p> <p>■「家に偶然あった。」ではなく、災害時に備えた備蓄をする必要があることを理解している。</p>
5 6 7	<p>情報の収集1</p> <p>○災害に備えた備蓄品を調べよう</p> <p>・特に自分が興味をもった備蓄品ごと、6つのチームに分かれる。「水&amp;食料チーム」「情報ツール&amp;照明チーム」「衛生用品チーム」「季節用品チーム」「安全用品&amp;小物チーム」「個人的に必要な物チーム」</p>	<p>■災害に備えた備蓄について図書やインターネットで調べたり、質問したりして得た情報をまとめることができる。</p> <p>■備蓄にはどのような物をどのように保存しておく必要があるか理解している。</p> <p>■チームのメンバーで調べる事を分担したり、収集した情報を照らし合わせたりして、協力して情報</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームごと、図書、インターネットの使用、これまでの経験を活かして、『備蓄 BOX』に絶対入れておきたいものを調べる。</li> </ul> <p>○山形大学村山先生に自分たちが調べたものについて質問したり、助言を頂いたりする。</p>	<p>をまとめようとしている。</p> <p>■自分が必要な情報を専門家に聞いて、情報収集したりまとめたりすることができる。</p>
8	<p>整理・分析 1 1</p> <p>○チームごと収集した備蓄の情報を元に『防災 BOX』をみてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生が用意した『防災 BOX』を見て、かなりお金がかかること、買いに行く手間がかかることに気付き、家庭や地域住民が行動に移すことの難しさを発見する。</li> </ul>	<p>■工夫してできる備蓄の必要性を理解している。</p> <p>↓</p> <p>(お金をかけない・家にあるもので代用できる)</p>
9 10	<p>情報の収集 2</p> <p>○工夫してできる備蓄について知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットや図書で工夫してできる備蓄について調べたり、村山先生の助言をヒントに考えたりする。</li> </ul>	<p>■備蓄の情報を取捨選択したり、比較、関連付けたりしている。</p>
11 12 13 本 時 14	<p>まとめ・表現 1</p> <p>○発表に向けてまとめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドの設計の一部として紙に工夫した備蓄についてチームごとまとめる。</li> </ul> <p>○学級発表会をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級発表会をして、よかったところ、直した方がいいところをお互いにアドバイスし合う。</li> </ul>	<p>■伝える相手を意識した発表の仕方と内容について考え、適切な方法で表現している。</p> <p>■家庭や地域住民が行動に移してくれそうな発表の内容について考え、他チームにアドバイスを送っている。</p>
15 16	<p>整理・分析 2</p> <p>○アドバイスを元に見直そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームの発表内容を改善する。</li> </ul>	<p>■備蓄の情報を取捨選択したり、比較、関連付けたりしている。</p>
17 18 19 20 21	<p>まとめ・表現 2</p> <p>○各チームパワーポイントで防災学習発表会に向けたスライドを作ろう</p> <p>○各チームのスライドを合体させてひとつの発表にしよう</p> <p>○防災学習発表会のリハーサルをしよう。</p>	<p>■伝える相手を意識した発表の仕方と内容について考え、適切な方法で表現している。</p>
22	<p>実行</p> <p>○11月28日(火)5時間目、体育館で防災学習発表会を行う。</p>	<p>■伝える相手を意識した発表の仕方と適切な方法で表現している。</p>
23 24 25	<p>振り返り</p> <p>○事後アンケートを実施して、災害に備えた備蓄をする人がどれくらい増えたか調査する。</p> <p>○実態の変化から活動の振り返りをする。</p>	<p>■友達と協力して課題解決に向かった自分の頑張りど、工夫してやり遂げたことを振り返っている。</p>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ


単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

- ・自信をもって発表し、出されたアドバイスに対して回答することができる。
- ・発表内容をより良いものにするために、「ポイント」に基づいてアドバイスすることができる。

### 2-3. 本時の展開

段階	主な学習活動	○教師の働きかけ ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ■評価 ○成果 ▲課題
つかむ 見通す	1 発表の仕方と、発表の聞き方を確認する。  <b>聞き手の視点を明確にできた。</b>	○発表するとき、どのようなことに気を付けて発表するといいいですか。 ・聞き取りやすい声の大きさで。 ・お客さんの方を見て話す。 ○発表の「ポイント」はこれです。「備蓄してほしい物の数や量がくわしく伝えられているか」「やり方は分かりやすく伝えられているか」「足りない情報はないか」	・席はチームごと集まった形に配置する。 ・聞き手を意識した発表の仕方について気付かせる。 ・発表の仕方へのアドバイスはなし。内容へのアドバイスを「ポイント」をもとに考える。 ・11月28日の防災学習発表会では、全チームの発表を合わせて、4年生の1つの発表になることを伝える。 (視点②-1)
追究する 深める	2 めあてを確認する。 3 グループごとに発表をしてアドバイスを送る。 	<b>1人1アドバイス！防災学習発表会に向けて、みんなで発表をよりよいものにしよう。</b> ○水&食料チームが考えた備蓄の工夫を聞きましょう。 水&食料チーム ・水道水を保存しておく。 ・よく買うような缶詰の備蓄でOK ・お菓子は好きな物でOK ○他のチームからアドバイスを送りましょう。	○学習のゴールと目的が子どもの中でも明確にできた。意欲的な姿勢がみられた。 ▲「そもそもなぜこの備蓄品が必要なのか」という意識がうすく、確認不足だった。 ・アドバイスしたいことをメモできるようにワークシートを使用する。 ▲アドバイスなのか、質問なのか。時間も短く見直したい。 ・チームのメンバーでアドバイスを出し合う。その後、全体で代表者が発表す



インターネットの届かないところでラジオは使えるのかな。

なんて返答したらいいんだろう…。



- ・水道水は時間がたっても飲めるのか考えて見直した方がいい。
- ・何人家族でどれくらい必要か伝えた方がいい。
- 情報ツール&照明器具チームが考えた備蓄の工夫を聞きましょう。
- ・ペットボトルでできるランタン
- ・スマホに RADIKO アプリを入れる
- 他のチームからアドバイスを送りましょう。
- ・実際にやってみせるといい。
- ・アプリのデメリットについて伝えた方がいい。
- 衛生用品チームが考えた備蓄の工夫を聞きましょう。
- ・トイレは新聞とビニールで作ることができる。
- 他のチームからアドバイスを送りましょう。
- ・実際にやってみせるといい。
- ・どれくらいの数を準備したらいいか伝えた方がいい。

る。(視点③-1)

- 伝える相手を意識して堂々と発表しているか。出されたアドバイスについて回答しているか。
- より良い発表に近づくためのアドバイスを送ることができたか。
- ▲アドバイスをもらった後、発表したチームがどう返答したらいいかわからそうにしている場面があった。対話を通して解決策を見つけていくにはやりとりの技能も必要だった。
- 紙にまとめるよさ(基本的なまとめの書き方が定着する。)があった。パワポと紙を融合して利用する等できた。



ま 4 振り返りをする。



- 今日の振り返りをしましょう。
- ・意見を出されて、発表の内容に付け足さないといけないことがあると分かった。
- ・アドバイスを考えることができた。

- 今日の発表で出されたアドバイスについて考えながら、次回の活動についての見通しを持つことができたか。友達の発表についての自分なりのアドバイス考えを書けたか。

### 3. 今回の活動の自己評価

- 本時では、他のグループの発表を聞いて疑問に思ったことや、分からない事に対して考えを持つ子どもの姿が見られた。また、みんなで発表をいいものにしていきたいという思いを持って他のグループの発表を聞いていた子どもが多かったように感じた。
- 「ポイント」「1アドバイス」で本時のメインとなる聞き手の意識づくりに効果があったが、「なぜ備蓄をする必要があるのか」というところに重きをおいた内容にするとよかった。
- 防災発表会では実物や写真、実演があり分かりやすい発表をすることができていたので、来てくださったおうちの人や地域の方々に少しでもいいから備蓄をしてほしいという思いを伝えることができた。
- 単元全体では、市職員や警察官、コミセン職員、町内会長といった地域で直接防災を担う方たちや、山形大学の村山先生との交流や活動の実践をとおして、子どもたちの地域の防災に対する意識の向上が図られた。

### 4. 今後の課題

- よりよくするためにどうしたらよいか、という改善案は全体でのやりとりの中で達成できなかった。今後は、話し合いができる十分な時間を確保したい。また、話し合いで考えを深めるためのやりとりの技能を育みたい。
- 世間で話題になっているニュースを挙げたり、実際に体験したりして単元に入ったことで、課題を見出したり、当人の気持ちを考えることがしやすくなった。今後は、図書資料を事前準備してもっと使わせていき、インタビューする経験も積ませていきたい。
- 自分から話すことを意識する子供は増えたが、2つ以上の意見を関連付けたり比較したり、解決に向かうといったやりとりがまだ難したため、ファシリテーターの役回りを教師がみせながらまねさせるところから始めていきたい。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。